

iCONMにてインキュベーション事業始動！



前列左から：井上 睦子(文部科学省)、木村 廣道(川崎市産業振興財団)、福田 紀彦(川崎市長)、Johannes Fruehauf(BioLabs, CEO)、Susan Chase(BioLabs, Vice President)、三浦 淳(川崎市産業振興財団)、片岡 一則(川崎市産業振興財団)

後列左から：厚見 宙志(川崎市産業振興財団)、鈴木 毅(川崎市産業振興財団)、酒井 重樹(科学技術振興機構(JST))、野村 龍太(公益財団法人実験動物中央研究所)、大月光康(内閣府)、内田 智士(Crafton Biotechnology株式会社)、野上 健一(株式会社メセラ)

2022年6月6日、公益財団法人川崎市産業振興財団は、キングスカイフロントにあるナノ医療イノベーションセンター(iCONM)内においてライフサイエンス分野のシード・アーリー期のスタートアップを支援するiCONM in collaboration with BioLabs事業を開始し、ラボ利用者の募集を開始しました。また当財団では、本事業に際して米国ボストンを拠点とするライフサイエンス分野のグローバルインキュベーター BioLabs社と事業連携協定を締結しました。BioLabs社にとっては、アジア初のシェアラボ連携拠点であり、関係者の方々から高い関心をいただいています。

ライフサイエンス分野の研究開発は、一般的に高額で高度な研究施設・設備が必要となります。これらをスタートアップ自らが整備することは困難で、とりわけシード・アーリー期のスタートアップには大きな負担です。本事業では、iCONMが文科省/JSTのセンターオブイノベーション(COI)プロジェクトで培った研究設備や研究開発支援・社会実装支援の体制などを有効に活用することで、シード・アーリー期のスタートアップを支援するものです。このたびのBioLabs社との連携により、当財団とBioLabs社のノウハウを融合させ、川崎において新たなイノベーションを創出してまいります。

本事業は、スタートアップがグローバルに活躍しやすい環境をキングスカイフロントに立地するiCONMに整備することで、エコシステムの基盤を川崎市と連携して構築する極めてユニークな取り組みです。同日に開催された記念セレモニーでは、BioLabs CEOのヨハネスフルハーフ氏から、「iCONMへ入居したスタートアップはBioLabsのグローバルネットワークに参画することができる。そのネットワークを基に、川崎がバイオ系のスタートアップのハブとなり、川崎・キングスカイフロントを世界の様々な人や動きなどを惹きつけるビジネス拠点となって、雇用・新産業へ貢献していきたい」と力強いメッセージがありました。本連携が日本のイノベーションを加速させ、新たな技術を社会実装につなげる契機としてまいります。

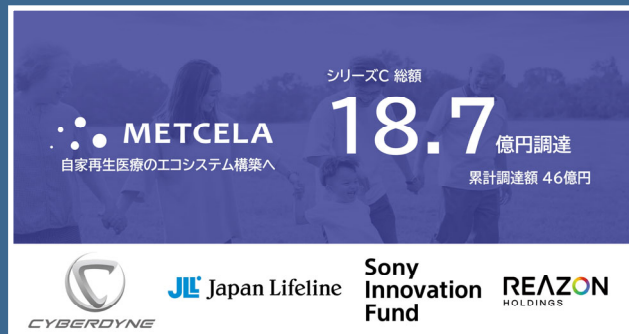


iCONM内に設けられたiCONM in collaboration with BioLabs用のラボベンチ。1ベンチから利用可能で、個別冷蔵庫なども付属しており、その他施設内の分析機器も利用可能。

メトセラ シリーズCラウンドにおいて 18.7億の資金調達を完了

株式会社メトセラ(以下、メトセラ)は、CYBERDYNE株式会社と同社子会社が運営するCEJファンドをリード投資家とするシリーズCラウンドについて、同社グループに加え、3社を引受先として、14.2億円を調達したことを発表しました。これにより、シリーズCラウンドの資金調達総額は、18.7億円となり、心不全向け自家再生医療等製品のグローバル・エコシステム構築を通じて、心不全に対する新たな治療手段を創出するとしています。メトセラは、小児先天性心疾患に対する新たな治療法を開発する株式会社日本再生医療を、4月に子会社化、6月に合併し、両社の共通点を活かして臨床開発体制を強化しており、今後の開発の加速に注目が集まっています。

株式会社メトセラのニュースリリースはこちら



JSRがスタートアップ企業を誘致

JSR株式会社は、昨年キングスカイフロントに開所した研究所「JSR Bioscience and informatics R&D center(JSR BiRD)」において、スタートアップ企業と施設利用にかかる契約を締結したことを発表しました。

入居するのは、ヘルステックカンパニーの株式会社KINSと腸内細菌研究を行うAuB株式会社との2社。JSR BiRDでは、協業型研究施設の特徴を活用し、共同研究を通じて次世代研究を一層加速させ事業化を目指します。

JSR株式会社のニュースリリースはこちら

ナレッジパレットの團野氏がイベントに登壇

株式会社ナレッジパレットの代表取締役團野宏樹氏は、6月1日に開催された『多摩川スカイブリッジ』が繋ぐ、世界へ羽ばたくスタートアップカンパニー(主催:横浜銀行、きらぼし銀行、共催:東日本銀行)で同社の事業について講演しました。

同社は、世界最高精度の全遺伝子発現解析技術を活用した難病の克服を目指しています。3月には、今後著しい成長が期待されるスタートアップ企業を表彰する“EY Innovative Startup 2022”(企画:EY新日本有限責任監査法人)にも選出され、今後の発展が期待されています。

株式会社ナレッジパレットのWebサイトはこちら

第42回Tonomachi Cafeを羽田地区で開催

6月8日、42回目となるTonomachi CafeがKicSpace HANEDA で開催されました。今回は、きらぼし銀行との連携企画として「ヘルスケア×デジタル×ものづくり」をテーマに、羽田地区とキングスカイフロントの代表的な取組が紹介されました。

羽田地区から登壇した川崎重工業株式会社商品企画総括部副総括部長の真田知典氏は、今春HI Cityに開設した「Future Lab HANEDA」での取り組みや、産業ロボットの未来について語りました。またキングスカイフロントからは、ナノ医療イノベーションセンター主幹研究員の一木隆範氏が「医療・創薬の未来を変えるナノ工学」と題し、今後需要が高まるとされる「在宅医療」や「その場検査」に対応する研究開発を紹介しました。その後参加者は、「Future Lab HANEDA」でロボットが調理したり、ドリンクを注ぐ様子を見学し、予定の終了時間を過ぎても参加者からの質問が途切れることはありませんでした。



LINK-Jコミュニケーションラウンジがオープン

キングスカイフロント内のResearch Gate Building IIに「LINK-Jコミュニケーションラウンジ」がオープンしました。

キングスカイフロントの立地機関とLINK-J会員は、来訪者との打ち合わせ、同僚や立地機関同士の交流などに活用できます。コーヒーの無料サービスもありますので、キングスカイフロントの新たな交流の場としてご活用ください。



6月には第41回Tonomachi Cafeも開催されました

購読のご案内

キングスカイフロントの最新情報をお届けするi-Newsletterを購読ご希望の方は、こちらよりお申し込みください。年4回の発行で、購読は無料です。

<https://ws.formzu.net/fgen/S93679955/>

発行日：2022年7月

発行元：公益財団法人川崎市産業振興財団
殿町キングスカイフロントクラスター事業部

Mail：info-ksfcl@kawasaki-net.ne.jp

